

ガバナー月信

Govener' s Monthly Letter

2025-2026 年度 ガバナーメッセージ 「ロータリアンからはじめましょう」

<スズタケと進化論>

国際ロータリー第 2620 地区 2025-26 年度ガバナー
稲葉 雅之 (伊東西 RC)

信州の山野に自生する「スズタケ」が、今 (5 月)、120 年に一度と言われる一斉開花の時を迎えています。諸記録によれば、前回の開花は 1906 年 (明治 39 年) 頃とされており、この花を見た人はもうこの世になく、次に見る人もまた、おそらくは今の私たちではないでしょう。

スズタケは、120 年という果てしない歳月をかけて地下茎を広げ、ただ一度の繁殖に全エネルギーを注ぎ込んで花を咲かせ、結実とともにその一生を終える「一回繁殖植物」です。この壮大な生命のドラマに、たまたま今という時代を生きる私たちが立ち会っていることに、深い縁 (えにし) と、宇宙の営みに対する不思議な畏敬の念を禁じ得ません。



『同じ時代に産声を上げた二つの命』

翻って、私たちロータリーに目を向けてみましょう。

シカゴの地でポール・ハリスらによってロータリークラブが産声を上げたのは 1905 年 2 月のことでした。スズタケが前回花を咲かせたとされる時代とほぼ同じ頃、ロータリーもまた歩みを始め、2026 年の今日、創立から 121 年という歳月を数えるに至りました。しかし、その誕生の姿は、今の私たちが知るロータリーとは、大きく異なるものでした。

創立当初の目的は「会員の利益増大」及び「親睦の推進」であり、現在の私たちが当然のものとして抱いている「奉仕」の精神は、そこにはありませんでした。やがてポール・ハリスらが「奉仕」を目的に加えようと働きかけたとき、クラブ内には反対意見が噴出し、組織は分裂の危機にさらされたそうです。「話が違う」「聞いていない」——創立時の合意とは異なる方向への変更を、多くの会員が受け入れられなかったのです。

その後何とか合意に至り、ロータリークラブは奉仕を目的に追加して新たなスタートをしたのですが、後から目的そのものを変えることが、いかに困難であるか。この歴史的な事実は、組織というものの本質を、静かに、しかし鋭く私たちに語りかけています。



最初の 4 人のロータリアン：(左から) ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレー、ポール P. ハリス

(次ページへ続く)

『生存戦略の対比』

スズタケは、一斉に枯死することで林床に光を入れ、次世代の確実な更新を図るという「適応」、いわば「自己犠牲による種の保存」を選択しました。

一方で、ロータリーという組織は「一回繁殖」で終わる存在ではありません。私たちは、時代ごとに社会の要請を汲み取り、自己を変革させながら、絶え間なく新しい奉仕の価値を「開花」させ続ける「持続可能な進化」を選んだのです。その進化の原動力こそが、「共感」にほかなりません。

『目的と共感』

現在のロータリアンは、皆、「奉仕団体」と知ったうえで、自らの意志で賛同し入会しています。平和を願い、紛争を防ぎたいと思っている。人々の健康を守り、母子の命を大切にしたいと願っている。清潔な水と衛生環境をすべての人に届けたい。誰もが基本的な教育を受け、識字率の向上を望んでいる。発展途上地域で経済が発展し人々が自立した生活を営めるようになってほしい。

これらはロータリーが掲げる重点分野ですが、同時に、人として当然に抱く願いでもあります。

私たちは既に目的や思いを共有しているため、大いに意見をぶつけ合い、時には紛糾したとしても、いずれ必ず合意形成が可能です。ポール・ハリスが直面した困難とは、本質的に次元が異なるのです。



『次なる 120 年へ』

スズタケが 120 年かけて蓄えたエネルギーを燃やし尽くし、次世代へバトンを繋ぐように、私たちもまた、この一年間、「UNITE FOR GOOD (よいことのために手を取りあおう)」を胸に、地区一丸となって情熱を注いでまいりました。スズタケが枯死した後の大地に新しい芽が息吹くように、121年の歴史を刻んだロータリーもまた、これまでの伝統を礎(いしずえ)としながら、次なる時代へとさらなる進化を遂げます。私たちの志は枯れることなく、世代を超えて受け継がれ、より平和な社会に貢献できる集団へと変化し続けるのです。

従って、私たちはこれからも、安心して議論し、迷いなくロータリー活動に励んでよいということです。

この記念すべき「開花の季節」にロータリアンとして皆様と共に活動できる幸せを噛み締めながら、また一丸となって次の若林ガバナー年度を大いに盛り上げてまいりましょう。



今月をもって、ガバナーとしての任期も終わりを迎えます。

各クラブへの訪問を通じて得た知識や友情は、私のかけがえのない財産として、これからの歩みに生きてまいります。一年間、誠にありがとうございました。

追伸：ガバナー訪問の卓話後、膝を突き合わせて囲んだ北杜 RC の夕ご飯は、格別においしかった。大家族のような温かさに包まれたあの食卓の記憶を、私はきっと忘れません。

以上



稲葉 DG 杯ゴルフ大会

稲葉ガバナー杯ゴルフ大会を4月16日、伊東市の川奈ホテルゴルフコースで開催いたしました。当日は、52名の皆様にご出席いただきました。晴天にも恵まれ、さわやかな一日となりました。

なお、3月16日に伊豆市の中伊豆グリーンクラブでガバナー杯ゴルフ大会予選会を開きましたが、こちらの方へは28名が参加し、本戦出場をかけてプレーを楽しみました。

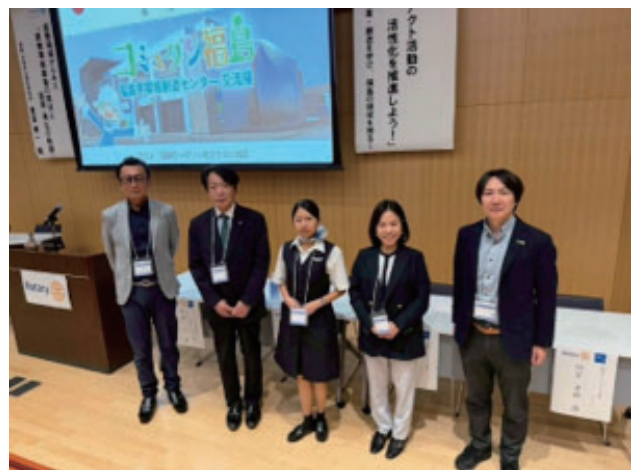
ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。



第13回全国インターアクト研究会郡山会議

第13回全国インターアクト研究会郡山会議は5月9、10の両日、福島県の県環境創造センター交流館（コミュタン福島）と郡山ビューホテルアネックスで開催されました。当地区からは、インターアクト小委員会の下田朗弘副委員長、日本航空高等学校インターアクトクラブの生徒と顧問先生各1名、葦崎RC会員2名が参加しました。

1日目は双葉厚生病院の富重秀一院長による「医療現場から見た『原発事故直後の現状と復興・再生の軌跡』」と題した基調講演をはじめ、地元IACによる事例発表等が行われました。2日目はロータリアンと顧問先生は4つに振り分けられた分科会へ、インターアクターはインターアクト交流会へそれぞれ参加。その後の本会議で各分科会、交流会の代表者が発表し、閉会式となりました。



台北国際大会まで 11 日となりました。台北でお会いしましょう！

台北国際大会まであと少し！ 当地区からの登録人数は日本で8位となっております。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。1位 D2580・3842名 / 2位 D2660・380名 / 3位 D2750・338名 / 4位 D2650・293名 / 5位 D2720・227名 / 6位 D2770・171名 / 7位 D2780・148名 / 8位 D2620・144名 / 9位 D2690・144名 / 10位 D2590・132名

13日開催の地区ナイトへも多くの皆様にご登録いただいております。実行委員会が有意義な時間となるよう、準備を進めております。徐州路2号ガーデンクラブでお会いしましょう！



2026 国際ロータリー台北年次大会 毎日プログラム概要

2026 Rotary International Convention Taipei, Taiwan



6/11 (木) 登録日	6/12 (金) ウォームアップ日	6/13 (土) フレンドシップ・ハウス 開幕日★	6/14 (日) 開会式典日★	6/15 (月) フォーラム & 交流の日	6/16 (火) ロータリー財団 & グローバル交流の日	6/17 (水) 閉会式典日
<p>📍 南港展覽館</p> <p>📅 15:00-19:00 年次大会登録開始</p> <p>📍 台北ドーム・南港展覽館</p> <p>📅 09:30-11:30 開会式典(第1回)</p> <p>📅 15:00-17:00 開会式典(第2回)</p> <p>📍 南港展覽館</p> <p>📅 09:00-12:00 分科会(セッション)</p> <p>📅 14:00-17:00 分科会(セッション)</p> <p>📅 13:00-14:30 クラブ会長表彰 ランチョン (要チケット)</p> <p>📅 18:30-21:30 国際室内オーケストラ ロータリーディナー</p> <p>📍 台北ドーム・南港展覽館</p> <p>📅 09:30-11:30 本会議Ⅱ (ジェネラル・セッションⅡ)</p> <p>📅 13:00-14:30 ロータリー財団インパクト ランチョン (要チケット)</p> <p>📅 14:00-17:00 分科会(セッション)</p> <p>📅 19:00-22:00 TRF ユニティ・ボール (要チケット)</p> <p>📅 19:00-22:00 世界でよいことをしよう ディナー (要チケット)</p> <p>📍 台北ドーム・南港展覽館</p> <p>📅 09:00-14:00 フレンドシップ・ハウス 最終日</p> <p>📅 09:00-12:30 分科会(セッション) 最終日</p> <p>📅 12:00-13:30 ガバナー・エレクト リーダーシップ ランチョン (要チケット)</p> <p>📅 15:00-17:00 閉会式典</p>						
<p>おすすめ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 早めに登録を済ませる • 会場へのアクセスを確認 • 事前にロータリアンと交流 	<p>おすすめ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 国内外の友人とつながる • 最新エリアやネットワーキングイベントを楽しむ 	<p>見どころ</p> <p>フレンドシップ・ハウスの正式オープン！ 各業の文化、ロータリーの奉仕プロジェクト、登録展示をお楽しみください。</p>	<p>見どころ</p> <p>世界中のロータリアンが集い、友情と文化を祝い、大会の幕開けを共に迎えます。</p>	<p>見どころ</p> <p>専門的なフォーラムや革新的なアイデアの共有、異文化交流を深める一日です。</p>	<p>見どころ</p> <p>ロータリー財団の主要イベントや、国際交流・親善をさらに深める一日です。</p>	<p>見どころ</p> <p>今年の成果を祝い、次期大会への期待を胸に閉会します。</p>
<p>主な会場</p> <p>南港展覽館：フレンドシップ・ハウス、登録、分科会、展示エリア 台北ドーム：開会式典、本会議、閉会式典 その他会場：晚餐会、文化イベント、親睦活動など</p>		<p>ご案内</p> <ul style="list-style-type: none"> • プログラムや時刻は変更される場合があります。 • 最新情報は公式アプリ「Rotary Convention」をご確認ください。 • フレンドシップ・ハウスは毎日09:00に開館します。 		<p>参加対象者</p> <p>ロータリアン、ローターアクト、インターアクト、青少年交換学生、およびロータリーに関心のある方すべてが対象です。</p>		 <p>詳細はQRコードをスキャンするか、公式サイトをご覧ください。 convention.rotary.org</p>


より多くの奉仕を、みんなの人生を豊かにするために UNITE FOR GOOD

こちらもあと少し！ 6月5日中村皇積パストガバナー・エンドポリオチャレンジ

まもなく開催されるイベントといえば、ロータリー財団委員長中村皇積 PG が浜松から東京まで約280kmをロードバイクで目指す、エンドポリオチャレンジです。

台風後の天気も心配ですが、なによりも事故がないことをお祈りいたします。

6月5日中村PGが皆さんの近くを走っているかもしれません。ぜひ、応援をよろしくお祈りいたします。



END POLIO Cycling Challenge From Hamamatsu to Tokyo! エンドポリオサイクリングチャレンジ 浜松～東京280km

Support my fundraiser

JPY 662,400
of JPY 2,000,000 raised

25% (4 remaining days)

[Donate now](#)

[Share fundraiser](#)

Donating by check?



1年間 稲葉ガバナーを支えてくださったガバナー補佐の皆さんにご挨拶を頂きました



山梨第1グループ 勝俣 重信

今振り返って見ますと、私にとってこの一年間は新しい出会いの年でした。稲葉雅之ガバナー、小川地区幹事、そして同期七名のガバナー補佐の皆様達。なんといっても山梨第一グループの会長、幹事会員との出会いです。昨年七月に甲府ロータリークラブの渡邊隆ガバナー補佐より引き継いだバトンをなんとか河口湖ロータリークラブの外川正知恵会員に渡す事ができそうです。山梨第一グループのの会員の皆様の友愛の輪が益々強く繋がることを願ってやみません。この一年間、御支援とご協力を誠にありがとうございました。



山梨第2グループ 鈴木 信行

ガバナー補佐に就任して良かったことは、大きく二つあります。一つは、山梨第2グループ7クラブの例会を、それぞれ4回ずつ訪問できたことです。各クラブの例会プログラムには独自の習わしや工夫があり、大変興味深く、学びの多い体験となりました。例えば、

- ・毎回、担当会員が交代でリラックス体操を指導している
- ・ピアノの生演奏によって豊かな雰囲気づくりをしている
- ・開会点鐘前に食事を済ませ、プログラムの時間を十分に確保している
- ・「会長の時間」をたっぷり設けている
- ・司会、ロータリーソング指揮、出席報告などを多くの会員で分担し、例会での出番を増やしているなど、それぞれのクラブが工夫を凝らし、魅力ある例会運営をされていました。

二つ目は、第2グループ主催の合同奉仕事業とIMを、所属7クラブの皆様のご理解とご協力のもと、計画どおり開催できたことです。その経験を通して、自クラブだけでは感じることはできなかった「地域社会におけるロータリークラブの役割と可能性」を実感することができました。ロータリアンとして、このような貴重で恵まれた機会を与えていただいたことに、心から感謝しております。



山梨第3グループ 福田 清貴

本年度、山梨第3グループガバナー補佐を仰せつかりました、甲府南ロータリークラブ所属の福田でございます。

本年度のRI会長メッセージ「UNITE FOR GOOD」はもちろんのこと、稲葉ガバナーの「ロータリアンから始めましょう」というメッセージに、深い感銘を受けたことを、昨日のことのように思い出します。

合同奉仕事業をはじめ、さまざまなグループ活動において、「まずは第一歩を自分から踏み出す」、そして、その想いをグループメンバーへバトンリレーし、その輪を広げていくことを目標に、一年間歩んで参りました。

どこまで稲葉ガバナーの想いに応え、実践できたかにつきましては、まだまだ至らぬ点多く、心許ない限りではございます。しかしながら、もしこの取り組みが、持続可能な一つのアイデアとして、今後につながっていくのであれば、これ以上の喜びはございません。

この一年間、多くの皆さまに支えていただきましたことに、心より感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。



静岡第1グループ 堀内 満喜子

今年度、私は稲葉ガバナーのもと、静岡第一グループのガバナー補佐を務めさせていただきました。

同じ伊東西ロータリークラブの仲間として、いつも温かく寄り添って下さったことを、ここから嬉しく思っております。

公式訪問では、どのクラブにも真心で接し、一人ひとりの声に耳を傾けられる姿に、稲葉ガバナーのお人柄を深く感じました。

また、第一グループの合同事業エンドポリオ・キャラバンにも笑顔で参加して下さり、その優しさが第一グループの絆を強くしてくださいました。

誠実で穏やかな中に、揺るがぬ信念を持つ稲葉ガバナーに、心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。



静岡第2グループ 芹澤 豊

稲葉ガバナー、地区役員の皆様、そしてグループ内の会長・幹事の皆様のご指導とご協力に心より感謝申し上げます。

私は期初のガバナー月信で楽しく悔いのない1年にしたいと申し上げました。

稲葉ガバナーの露払いとして「ガバナー補佐の公式訪問」ではガバナー方針の伝達を心掛け、「会長幹事会」は2月のPELSから全クラブ共通の合同奉仕事業を討議のテーマとして全員で活動内容を決めました。そして2月に開催した「IM」は2部構成とし、第1部は講演による勉強会、第2部は懇親会としました。

約230名と云う多数のご参加を頂き盛大に開催することができました。

ありがとうございました。



静岡第3グループ 大川 美代子

本年度グループ内のクラブを訪問し、各クラブの個性や魅力を実感しました。「例会の進め方」「会員数・年齢構成」「出席率」「雰囲気」等、同じロータリーでもこんなに違うんだと思いました。けれど、どのクラブも同様に、親睦を大切にし、皆で事業に取り組み、世界や地域に貢献できるクラブづくりを目指していました。

ただ、ガバナー補佐は思った以上に大変だなあというのが率直な感想です。合同事業・エンドポリオ・IM・クラブ訪問等、当日だけでなく準備にも多くの時間を費やしました。それでも、稲葉ガバナーや地区幹事の温かいサポートと、補佐事務局チームや清水西 RC の皆さんの協力をいただき、楽しくやり遂げることができました。心より感謝致します。



静岡第4グループ 杉本 昭

稲葉ガバナー ご苦勞様でした！

当年度のスタート直前に国際ロータリー会長辞任の報が流れて心配致しましたが、その折の稲葉ガバナーのコメントは「案ずるな、私たちは微動だにしない。むしろ…」と至って沈着そのものだったことが今でも鮮明に思い出されます。

この一年間、ロータリー研究会やクラブ活性化セミナーをはじめとする各種勉強会への参加、ガバナー公式訪問随同行と周年・記念例会、地区大会はじめ他グループ IM やイベントへの出席等、濃密な時間を共有させていただいたことに感謝致します。ご指導いただき有難うございました。年度終了後、是非早めに身と心のお疲れを癒されますように。



静岡第5グループ 川井 啓介

「良いことのために」手を取り合っていますか？

「親睦からの笑顔で奉仕してますか？」

RI 会長、稲葉ガバナーのテーマの元、静岡第5グループ 12 ロータリークラブの会長、幹事そして会員の皆様とともにスタートした今年度でしたが大変有意義な1年間を過ごさせていただきました。誠にありがとうございました。

12 ロータリークラブを訪問させていただき、私なりに気づいたことがあります。

会員増強は大切なことですが、元気なクラブは新会員をしっかりと育てているなど感じました。例えば地区開催のセミナーや勉強会、地区各委員会の会議などに参加した会長、幹事、担当委員長等がクラブ例会において、勉強した内容を会員に報告し、地区の方針等をクラブ全員で共有しています。会員は、ロータリークラブがどんな方向に向かっているのか、何をしようとしているのか把握できる、このことは会員にとってとても重要なことだと思います。

当たり前のことをしっかり行う。出来ているクラブは、元気、楽しい、そして何より会員が増えています。

終わりに、合同奉仕事業アマモの別名「竜宮の乙姫の元結の切り外し」、何とも夢のあるロマン溢れる呼び名です。「浜名湖アマモ再生プロジェクト」は、まだまだ始まったばかり。

第5グループの皆様、これからもご協力よろしくお願い致します。出会いに感謝!!



次号、13号が25-26年度最後のガバナー月信となります

本年度1年間ありがとうございました。次号13号を持ちまして25-26年度ガバナー月信最終号となります。もう1号だけ続きます！

引き続き、よろしくお願いいたします。